

令和7年度事業計画

1 基本方針

我が国は、長期の人口減少過程に入っており、少子高齢化の進展と、団塊の世代が75歳以上となり、高齢化率は上昇し続けると見込まれています。

このような中、シルバー人材センターの果たす役割は、就業を通じて地域社会に貢献する団体として、柏市との連携強化を図るとともに、会員の知識や経験を活かせる事業の創出、成果と効率、パフォーマンスに見合った就業機会の開拓に努めてまいります。

令和7年度は、会員の拡大、就業先の確保・拡充、安全就業の推進、デジタル化の促進を重要施策に据えて、いつまでも元気に活躍できるセンターの魅力を拡充できるよう、以下に掲げる事業計画に取り組み、センター事業を展開してまいります。

2 事業計画

(1) センター組織の体制の強化

① 総会出席率の向上

総会出席率の向上を目指し、広報紙や各種会議等で参加を促す。前年度総会出欠席無回答者には、通知文送付とSMS、会員専用サイト smile to smile（以下「smile to smile」）、電話連絡等で参加を呼びかけるほか、会員が総会参加に興味を持つような企画を検討し、委任状及び議決権行使書の提出を含め、85%以上の出席率を目標とする。

② 未就業相談の充実

地区別出張未就業相談会及び毎月末水曜日の就業相談日を実施し、未就業会員の解消に努めるとともに、来局された会員の就業相談に随時対応する。

③ 職群班活動の推進

職群班の自主的活動を推進するため、定期的に職群班会議を開催し、会員相互の連携強化と情報の共有化を図るとともに、資質向上を目的とした研修会等を実施して職群班組織の強化に努める。

④ I T 化の推進

デジタル技術の活用として smile to smile の利用率拡大を推進し、フリーランス法や就業情報の発信に努め、I T 化による効率的な業務に取り組む。

(2) 事務局体制の強化

① 事務局組織の強化と機能充実

シルバー事業を俯瞰するエキスパート人材を育成するため、専門部会の再編に伴う担当職員の配置換えと適正な人事評価を行い、モチベーションの向上と事務局体制の強化に努める。

② 他市センターの情報収集

センター事業の課題に対する情報収集に努め、包括的契約の課題を整理し、新契約方式への変更が円滑に行えるよう態勢を整備する。

③ 会員と役員・事務局職員の連携強化

定時総会后、新たな専門部会を再編することから、課題の整理と情報の共有化を推進し、会員と役職員との連携強化を図る。

④ 専門部会の所管事項整理及び再編

広範にわたる専門部会及び安全委員会の所管事項を整理し、事業計画の遂行に資するよう専門部会の横断的連携を促進する。

(3) 会員の拡充と広報の充実

① 会員の拡大

会員の拡大では、定期的な入会説明会開催のほか、柏市生涯現役促進協議会主催のセミナーに参加し、センターの案内や会員拡大策を講じるとともに、シルバーサロンの開催、デジタルサイネージ、パレット柏の活用等、多様なアプローチ戦略を展開し、会員数は前年度末プラス50人を目標とする。

② ホームページ等の掲載内容の充実・更新

ホームページの閲覧数が増加していることから、定期的な更新と魅力ある掲載内容の充実を図るとともに、正確な情報発信に努める。

③ 研修計画の策定と研修メニューの開発

研修は、職群班の就業課題に基づいた内容や技能・技術の向上を目的とする企画をそれぞれ策定し、センター事業の発展に資する研修会・講習会を実施する。

(4) 就業機会の確保・拡大

① 受注の拡大

契約先を訪問し、就業機会の拡充とニーズの掘り起こしを行い、受注分野の裾野を広げ、多様化する受注の確保に努めるとともに、公共施設やコンビニ店舗にセンターのパンフレットを配架し、受注拡大を推進する。

② 請負・委任及び派遣事業の拡充

柏市との連携を図り、柏市生涯現役促進協議会のセミナーを通じて、センター情報の発信に努めるとともに、新たな求人情報の開拓、請負・委任契約及び派遣契約の拡充に取り組む。

③ 独自事業の充実

シルバー学び隊事業の促進と新たな独自事業の展開をサポートするほか、ホームページを活用した空き家管理、お墓清掃事業の受注獲得に努める。

④ 顧客満足度の向上と就業先訪問

定期的に就業先を訪問し、会員の就業状況の確認や満足度向上に資するアンケートを実施するほか、発注者に包括的契約への変更説明を行い、次年度から導入できる態勢を整える。

⑤ 適正就業の確保

ジョブコーディネーターによる就業先訪問を行い、当初の就業内容との相違点を確認するとともに、全ての会員が安全・安心の下で適正な就業が履行できるよう取り組む。

(5) 安全就業の推進

① 安全委員会の機能強化

安全委員会を6回開催し、事故発生状況の報告と事故原因の検証を行うほか、先進センターの視察を計画し、安全委員会の機能強化を図る。

② 安全パトロールの実施

安全委員会開催時及び役職員による安全パトロールを実施し、作業環境や就業実態等を確認するとともに、安全指導を行い事故防止に努める。パトロールで得られた安全対策は、ホームページや広報紙を通じて会員と発注者に情報提供する。

③ 事故の削減

事故の削減策として、事故発生状況は広報紙で情報提供と注

意喚起を促すほか、柏市・柏警察署の協力を得て交通事故防止講座を実施する。

また、会員の健康管理と安全就業に資するため、年1回の健康診断の受診を奨励し、会員自身が健康状態の把握に努めてもらうよう呼びかけを行う。

事故発生件数は、前年度比25%の削減を目標とする。

(6) 経営及び事業運営の基盤強化

① 経営視点での事業運営

国、全国シルバー人材センター事業協会が推奨する、包括的契約への変更に向けた態勢を整え、発注者への説明方法の確立と会員規約の周知等を推進し、副次的効果による事業運営の安定化を図るほか、補助金の増額要請と事務費収益の確保に努める。

(7) 地域社会への貢献

① 地域イベントへの積極的な参加

ボランティア活動を継続し、地域イベントの参加を多くの会員に呼びかけ、地域社会への貢献活動の機会を提供するとともに、活動内容の広報を行い、センターの知名度向上を図る。

② 地域貢献・会員と市民の交流推進

柏市、柏市生涯現役促進協議会、柏市社会福祉協議会、柏商工会議所等と連携し、公益法人として地域貢献度の向上を図るほか、シルバーサロンや女性会員交流会を通じて市民との交流を推進する。